

## 第 8 回旧 R D 最終処分場問題連絡協議会の開催結果

■日 時 平成 26 年 8 月 11 日(月) 19:00～21:00

■場 所 栗東市コミュニティセンター治田東

## ■協議概要

## 1. 二次対策工事のリスクと対応

資料のうち、第 6 回の協議会での意見に基づいて追加した「工事後のリスク」と対応について、説明を行いました。

その結果、水処理施設の老朽化に関して、設備の耐用年数と交換費用の責任分担について質問がありましたので、資料を整理したうえ、次回以降に報告すると回答しました。

また、大雨の想定に関して質問がありましたので、場内の浸透水貯留層の設計にあたって過去 15 年間の雨量をもとに計算を行っていますと回答しました。なお、この件については、平成 24 年 9 月 12 日に開催された「有害物調査検討委員会」で資料を提出して説明しています。

## 2. 観測井戸の閉塞について

前回、説明が不十分であった浸透水の観測井戸からの漏洩について、概念図を用いて説明を行うとともに、質問があった観測井戸以外の地点からの漏洩については、その可能性が低いことを追加資料を用いて説明しました。

このうち、「平成 10 年深堀是正概念図」については、平成 16 年に事業者を実施させた再是正工事で、修復した底面(128.4m の部分)を全て出す計画が、実際には上の廃棄物土層を撤去できなかった部分があり、その部分の廃棄物土層の下が良質土で埋戻し、是正しているかどうかは十分確認ができておらず、この概念図は間違いを含むこと、また、同地点でセメントミルクを注入した工法についても、当初の約束と違う、中途半端な対策であったとの指摘がありました。

## 3. その他

(1) 資料 3 に関して、耐震性に関しては結論を得た道筋をデータを示して説明すべき、また、耐久性等について引用した論文の出典を記載すべきとの意見があり、次回以降に対応すると回答しました。

(2) 有害物質の掘削除去に関して、現場ではどのように確認しているのかとの質問と、撤去した違反物等の量(比率)を示してほしいとの意見があり、次回以降に日報の具体例を提示するとともに搬出量等を整理して報告すると回答しました。